脳腫瘍全国統計調査と解析

（臓器がん登録調査）

この度、脳腫瘍患者の病理診断・年齢・性別・治療内容・生存確認などを全国調査し、脳腫瘍の疫学・患者背景・生存率を明らかにし、脳腫瘍患者の治療に役立てることを目的とし、脳腫瘍全国統計委員会　渋井壮一郎委員長、国立がん研究センター脳脊髄腫瘍科成田善孝科長を中心とする他施設共同で症例集積し、本邦の脳腫瘍治療におけるデータベース作成を試みることとなりました。脳腫瘍は発生頻度が低いにもかかわらず、病理診断が多岐にわたるため、個々の脳腫瘍の発生頻度・疫学・治療内容・生存率を検討するためには、単施設での報告だけでは不十分であり多施設共同研究が必要と考えられます。

研究の対象となるのは 2005 年以降に全国の脳神経外科施設で脳腫瘍として診断・治療を行った症例です。研究方法は臨床情報を収集してデータベースを作成して、個々の脳腫瘍の疫学・病態・治療成績を検討いたします。得られたデータは UMIN-INDICE に蓄積され活用されます。個人情報には特別注意を払いまして、各個人が特定されないように匿名化し、厳重に保護管理いたします。データの保存期間は 2030 年まで予定しております。疑問点、質問等のお問い合わせは大阪医療センター脳神経外科(Tel：06-6942-1331 担当：藤中俊之、村上皓紀)までお願いいたします。また対象患者様で当研究への参加を同意頂けない場合は上記問い合わせ先までご連絡ください。